



ゆうあいくんMEMO  
～ 助成金編3 ～

どの助成金を申請しよう？

## 助成金選びのポイント！

### 1. 助成金の募集内容をチェック！

助成金を申請する際には、必ずチェックしておかなければならないことがたくさんあります。

募集要項に書かれている下記の項目をチェック！

- 対象分野：分野は合致していますか？例えば、障がいのある人と一緒に行う芸術活動に関する事業の場合、福祉(障がい)分野と文化(芸術)分野の双方からアプローチすることができます。また広い意味で生涯学習や社会教育活動の一環に含めることもできます。
- 対象団体：法人格の有無や、活動年数〇年以上など、対象となる団体が限定されている場合があります。
- 対象経費：「直接事業にかかる経費のみ」「研究費」「備品購入費」「人件費」等、どのような経費が対象となりますか？
- 助成比率：「事業費の〇%以内」、「自己負担金の有無」など、助成が決定した場合でも自己負担が必要な場合があります。
- 助成金額：上限はいくらですか？1団体〇万円といった一律助成の場合もあります。
- 助成実施期間：いつの活動に対しての助成ですか？数ヶ月先や次年度の活動に対しての助成となっているものもあります。助成金を申請する場合は早めの計画が必要です。
- 助成決定時期：申請後、選考を経て助成決定の可否が決まります。
- 助成金の支払：助成金が支払われるのはいつですか？またどのような方法で支払われますか？その他、贈呈式の有無なども確認しておきましょう(他県で開催される贈呈式に出席しなければならない場合もあります)。
- 推薦：助成金によっては、自治体、社協、学識経験者などの推薦を必要とする場合があります。推薦を依頼する場合は、早めに申請書等の書類を用意し、依頼しましょう。また、日頃からの関係づくりを行っておくことも大切です。
- 継続助成の可否：長期間にわたって行う活動の場合、継続助成が可能かどうかについても確認しましょう。
- 重複申請の可否：他の助成金との重複申請が不可のものもあります。重複申請する予定の場合は、必ず確認しましょう。
- 公的補助の有無：公的補助が無いまたは見込めないことが条件となっている場合があります。
- 審査方法：申請書以外に、プレゼンテーションや訪問調査などが審査対象になる場合があります。

その他、特記事項など、募集要項をくまなくチェックすることが、助成金獲得への近道です。